

令和2年度 第2回教職員による学校評価（自己評価）

全体

回収数 138

分類	評価項目	評価	4	3	2	1	回答数	評価が「4」もしくは「3」の割合(%)		
								7月		12月
安心・安全	安全点検やインシデント等の報告が適切になされ、児童生徒の安全に配慮した教育環境を整えるとともに、教職員の健康に配慮した職場であるか。	計	45	85	6	2	138	92	↗	95
		割合	33%	62%	4%	1%	平均値			
人権	児童生徒の人権に配慮した教育活動が行われているか。	計	30	103	5	0	138	97	→	97
		割合	22%	75%	4%	0%	平均値			
	人権を尊重した人間関係が営まれ、適切な業務推進ができる働きやすい職場環境であるか。	計	33	97	8	0	138	91	↗	94
		割合	24%	70%	6%	0%	平均値			
教育課程	カリキュラムマネジメントの視点に基づき、地域や時代のニーズを捉えた一貫性のある教育課程が編成されているか。	計	21	104	13	0	138	87	↗	90
		割合	15%	75%	9%	0%	平均値			
教育活動	PDCAサイクルの活用に基づき、児童生徒一人一人の実態や教育的ニーズを的確に把握し、指導計画の作成や実践、評価が適切になされているか。	計	22	113	3	0	138	95	↗	98
		割合	16%	82%	2%	0%	平均値			
研修	喫緊の課題や高い専門性を探究し続けるため、教育公務員として必要な研修体制は充実しているか。	計	25	106	7	0	138	90	↗	95
		割合	18%	77%	5%	0%	平均値			
信頼	職員一人一人は、教育公務員としての責任を自覚し、相互に信頼し協力し合う体制が整っているか。	計	52	80	6	0	138	96	→	96
		割合	38%	58%	4%	0%	平均値			
センター的機能	本校の教育活動の理解啓発に努めるとともに、インクルーシブ教育システムの構築に向け、地区内における特別支援教育のセンター的機能は充実しているか。	計	41	93	4	0	138	95	↗	97
		割合	30%	67%	3%	0%	平均値			
連携	家庭や保・幼・小・中・高等学校、関係機関との協力・連携が密になされ、指導・支援の共有化と教育効果の向上が図られているか。 (出席日数の少ない児童生徒や不登校傾向の児童生徒への適切な支援)	計	33	98	6	1	138	94	↗	95
		割合	24%	71%	4%	1%	平均値			
働き方	効率的な業務の推進及び勤務時間の管理がなされ、心身の健康について意識できる職場であるか。 (業務内容や働き方の見直し)	計	28	89	20	1	138	85	↘	84
		割合	20%	64%	14%	1%	平均値			

業務改善について、自身で取り組んでいることが進んでいると感じていますか。	計	73	14	51	→ 138 (回答数)
	割合	53%	10%	37%	
→ はい：4の欄 いいえ：3の欄 分からない：2の欄					

令和2年度 第2回教職員による学校評価（自己評価）

小学部

回収数 62

分類	評価項目	評価	4	3	2	1	小学部 回答数	評価が「4」もしくは「3」の割合(%)		
								7月		12月
安 心 全	安全点検やインシデント等の報告が適切になされ、児童生徒の安全に配慮した教育環境を整えるとともに、教職員の健康に配慮した職場であるか。	計	27	33	1	1	62	99	↘	97
		割合	44%	53%	2%	2%	平均値 3.4			
人 権	児童生徒の人権に配慮した教育活動が行われているか。	計	15	44	3	0	62	96	↘	95
		割合	24%	71%	5%	0%	平均値 3.2			
	人権を尊重した人間関係が生まれ、適切な業務推進ができる働きやすい職場環境であるか。	計	14	47	1	0	62	96	↗	99
		割合	23%	76%	2%	0%	平均値 3.2			
教 育 課 程	カリキュラムマネジメントの視点に基づき、地域や時代のニーズを捉えた一貫性のある教育課程が編成されているか。	計	12	44	6	0	62	93	↘	90
		割合	19%	71%	10%	0%	平均値 3.1			
教 育 活 動	PDCAサイクルの活用に基づき、児童生徒一人一人の実態や教育的ニーズを的確に把握し、指導計画の作成や実践、評価が適切になされているか。	計	11	51	0	0	62	93	↗	100
		割合	18%	82%	0%	0%	平均値 3.2			
研 修	喫緊の課題や高い専門性を探究し続けるため、教育公務員として必要な研修体制は充実しているか。	計	13	47	2	0	62	94	↗	97
		割合	21%	76%	3%	0%	平均値 3.2			
信 頼	職員一人一人は、教育公務員としての責任を自覚し、相互に信頼し協力し合う体制が整っているか。	計	22	37	3	0	62	100	↘	95
		割合	35%	60%	5%	0%	平均値 3.3			
セ ン タ ー 機 能	本校の教育活動の理解啓発に努めるとともに、インクルーシブ教育システムの構築に向け、地区内における特別支援教育のセンター的機能は充実しているか。	計	21	39	2	0	62	97	→	97
		割合	34%	63%	3%	0%	平均値 3.3			
連 携	家庭や保・幼・小・中・高等学校、関係機関との協力・連携が密になされ、指導・支援の共有化と教育効果の向上が図られているか。 (出席日数の少ない児童生徒や不登校傾向の児童生徒への適切な支援)	計	16	43	2	1	62	95	→	95
		割合	26%	69%	3%	2%	平均値 3.2			
働 き 方	効率的な業務の推進及び勤務時間の管理がなされ、心身の健康について意識できる職場であるか。 (業務内容や働き方の見直し)	計	15	43	3	1	62	97	↘	93
		割合	24%	69%	5%	2%	平均値 3.2			

業務改善について、自身で取り組んでいることが進んでいると感じていますか。	計	31	5	26
→ はい：4の欄 いいえ：3の欄 分からない：2の欄	割合	50%	8%	42%

→ 62 (回答数)

令和2年度 第2回教職員による学校評価（自己評価）

中学部

回収数 28

分類	評価項目	評価	4	3	2	1	中学部 回答数	評価が「4」もしくは 「3」の割合(%)		
								7月		12月
安 心 全 ・	安全点検やインシデント等の報告が適切になされ、児童生徒の安全に配慮した教育環境を整えるとともに、教職員の健康に配慮した職場であるか。	計	4	22	2	0	28	89	↗	93
		割合	14%	79%	7%	0%	平均値 3.1			
人 権	児童生徒の人権に配慮した教育活動が行われているか。	計	4	24	0	0	28	100	→	100
		割合	14%	86%	0%	0%	平均値 3.1			
	人権を尊重した人間関係が生まれ、適切な業務推進ができる働きやすい職場環境であるか。	計	7	17	4	0	28	93	↘	86
		割合	25%	61%	14%	0%	平均値 3.1			
教 育 課 程	カリキュラムマネジメントの視点に基づき、地域や時代のニーズを捉えた一貫性のある教育課程が編成されているか。	計	4	22	2	0	28	86	↗	93
		割合	14%	79%	7%	0%	平均値 3.1			
教 育 活 動	PDCAサイクルの活用に基づき、児童生徒一人一人の実態や教育的ニーズを的確に把握し、指導計画の作成や実践、評価が適切になされているか。	計	3	25	0	0	28	96	↗	100
		割合	11%	89%	0%	0%	平均値 3.1			
研 修	喫緊の課題や高い専門性を探究し続けるため、教育公務員として必要な研修体制は充実しているか。	計	4	24	0	0	28	86	↗	100
		割合	14%	86%	0%	0%	平均値 3.1			
信 頼	職員一人一人は、教育公務員としての責任を自覚し、相互に信頼し協力し合う体制が整っているか。	計	8	17	3	0	28	100	↘	90
		割合	29%	61%	11%	0%	平均値 3.2			
セ ン タ ー 機 能	本校の教育活動の理解啓発に努めるとともに、インクルーシブ教育システムの構築に向け、地区内における特別支援教育のセンター的機能は充実しているか。	計	7	19	2	0	28	93	→	93
		割合	25%	68%	7%	0%	平均値 3.2			
連 携	家庭や保・幼・小・中・高等学校、関係機関との協力・連携が密になされ、指導・支援の共有化と教育効果の向上が図られているか。 (出席日数の少ない児童生徒や不登校傾向の児童生徒への適切な支援)	計	6	20	2	0	28	96	↘	92
		割合	21%	71%	7%	0%	平均値 3.1			
働 き 方	効率的な業務の推進及び勤務時間の管理がなされ、心身の健康について意識できる職場であるか。 (業務内容や働き方の見直し)	計	3	18	7	0	28	78	↘	75
		割合	11%	64%	25%	0%	平均値 2.9			

業務改善について、自身で取り組んでいることが進んでいると感じていますか。	計	17	2	9	→ 28 (回答数)
	割合	61%	7%	32%	
→ はい：4の欄 いいえ：3の欄 分からない：2の欄					

令和2年度 第2回教職員による学校評価（自己評価）

高等部

回収数 48

分類	評価項目	評価	4	3	2	1	高等部 回答数	評価が「4」もしくは 「3」の割合(%)		
								7月		12月
安 心 全 全	安全点検やインシデント等の報告が適切になされ、児童生徒の安全に配慮した教育環境を整えるとともに、教職員の健康に配慮した職場であるか。	計	14	30	3	1	48	85	↗	92
		割合	29%	63%	6%	2%	平均値			
人 権	児童生徒の人権に配慮した教育活動が行われているか。	計	11	35	2	0	48	95	↗	96
		割合	23%	73%	4%	0%	平均値			
	人権を尊重した人間関係が生まれ、適切な業務推進ができる働きやすい職場環境であるか。	計	12	33	3	0	48	83	↗	94
		割合	25%	69%	6%	0%	平均値			
教 育 課 程	カリキュラムマネジメントの視点に基づき、地域や時代のニーズを捉えた一貫性のある教育課程が編成されているか。	計	5	38	5	0	48	81	↗	89
		割合	10%	79%	10%	0%	平均値			
教 育 活 動	PDCAサイクルの活用に基づき、児童生徒一人一人の実態や教育的ニーズを的確に把握し、指導計画の作成や実践、評価が適切になされているか。	計	8	37	3	0	48	96	↘	94
		割合	17%	77%	6%	0%	平均値			
研 修	喫緊の課題や高い専門性を探究し続けるため、教育公務員として必要な研修体制は充実しているか。	計	8	35	5	0	48	87	↗	90
		割合	17%	73%	10%	0%	平均値			
信 頼	職員一人一人は、教育公務員としての責任を自覚し、相互に信頼し協力し合う体制が整っているか。	計	22	26	0	0	48	90	↗	100
		割合	46%	54%	0%	0%	平均値			
セ ン タ ー 機 能	本校の教育活動の理解啓発に努めるとともに、インクルーシブ教育システムの構築に向け、地区内における特別支援教育のセンター的機能は充実しているか。	計	13	35	0	0	48	96	↗	100
		割合	27%	73%	0%	0%	平均値			
連 携	家庭や保・幼・小・中・高等学校、関係機関との協力・連携が密になされ、指導・支援の共有化と教育効果の向上が図られているか。 (出席日数の少ない児童生徒や不登校傾向の児童生徒への適切な支援)	計	11	35	2	0	48	91	↗	96
		割合	23%	73%	4%	0%	平均値			
働 き 方	効率的な業務の推進及び勤務時間の管理がなされ、心身の健康について意識できる職場であるか。 (業務内容や働き方の見直し)	計	10	28	10	0	48	70	↗	79
		割合	21%	58%	21%	0%	平均値			

業務改善について、自身で取り組んでいることが進んでいると感じていますか。	計	25	7	16	→	48	(回答数)
	割合	52%	15%	33%			
→ はい：4の欄 いいえ：3の欄 分からない：2の欄							